



WATANABE AKEMI

株式会社aminoel 社長

渡邊 明美

「宿命」は変えられないけれど、「運命」は変えられる。強く思えば、思うほどね。

手を休められる日は皆無に等しく、常に予約数ヶ月待ち。そんな多忙な日々を送る中、6月には全国各地のエステサロンが加盟している「一般社団法人日本全身美容協会」(東京都品川区、松本正毅理事長の理事に就任。さらにはエステティシャン技術やエステサロンの経営を学ぶスクール事業も開始した。8月には東京都港区に店舗をオープンし、念願だった東京進出を達成。2013年は「ami

noel(アミノエル)の渡邊明美社長にとって、「大躍進」の一年となった。「スクール事業と東京進出は長年の夢でした。今後もエステの正しい普及と育成に貢献していきたいですね。そしてスクールで育てた教え子に将来活躍してもらいたいことが最終的な目標です」。一歩一歩着実に邁進するバイタリティーの高さが、この1年の活発な動きからも窺える。

渡邊社長を絶え間なく前進させているものとは何なのか? それを知るには、彼女の普段の振る舞いを見てもらうのが一番早い。溢れる笑顔に凛とした姿勢、そして明るく澄んだ声のあいさつ。「一緒にいる人を元気にしたい」という気持ちや直に心に伝わってくる。「エステを通してお客さまに笑顔と元気を与えたい。この思いこそが、私の原動力となっていますね」と真つ直ぐな瞳で語る。

30歳でエステティシャンを目指し、独学で「オールハンド」という方向性を深めていった渡邊社長。35歳で開業してから数年間は顧客がなかなか付かず、運営を継続していくことの難しさに苦しんだ。

しかし、「自然由来の素材」を使い、「オールハンド」を貫く姿勢は、決して揺らぐことはなかった。その結果、次第にリピーターは増えていき、今では「なかなか予約が取れない」と言われるまでのサロンとなった。「1回で結果を出す技術を追求していたら、こうするしかなかったんです。自分を信じて、地道に努力すること。これこそが私の人生に掲げるテーマですね」。

揺るぎない信念。これは誰もが持てるものではないのではないかと感じる。しかし渡邊社長は言う。「宿命は変えられないけど、運命は誰にでも変えられる。夢や目標を持ち、自分なりの道を諦めずに歩き続ければ、きつとその夢は叶うと信じています。これからも常に「aminoel」にしかない何かを追求めながら、私自身の道を切り拓いていきたいですね」。

2014年、渡邊社長の輝く瞳には、すでに次なるビジョンが明確に映し出されている。



渡邊 明美

わたなべ あけみ 大分県出身。1967年3月7日生まれ。医療関係の公務員を経て、2002年に独立開業。2013年に(一社)日本全身美容協会理事に就任。日本エステティック協会認定エステティシャン、ダーマロジカ認定シニアスキンケアセラピスト、日本着装技術師(着物着付け講師)、ネイリストなどの技術資格を所持。趣味はドライブ、映画、ゴルフ。

AKEMI WATANABEホームページ <http://www.akemiwatanabe.com>

ami noel